JHIJEIDO

2018年 第1四半期実績

直川 紀夫

2018年 5月 11日

株式会社 資生堂 執行役員常務 最高財務責任者



当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通 しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定 な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは 異なる可能性があります。

2018年 第1四半期 Executive Summary

グローバルで強いブランドを確立 売上高 4四半期連続 実質 2 桁成長 売上高・営業利益とも過去最高を更新

<u>売上高</u> 2,638億円 外貨前年比+12.8% 前年比+13.5% 前年のZotos事業譲渡影響等を除く実質前年比+18%

- ▶ 日本が2桁成長を継続・大きくシェア拡大 (実質前年比+18%)
- > プレステージブランドがグローバルで大きくけん引 (+18%)
- ▶ コスメティクスブランドがアジアで飛躍的に成長 (+23%)

営業利益 471億円 営業利益率17.9% 前年比+95.3% 前年差+230億円

▶ ブランドの成長により、理想的なコストストラクチャーへ

親会社株主に帰属する四半期純利益

289億円 前年比+106.2% 前年差+149億円

供給体制の強化を加速

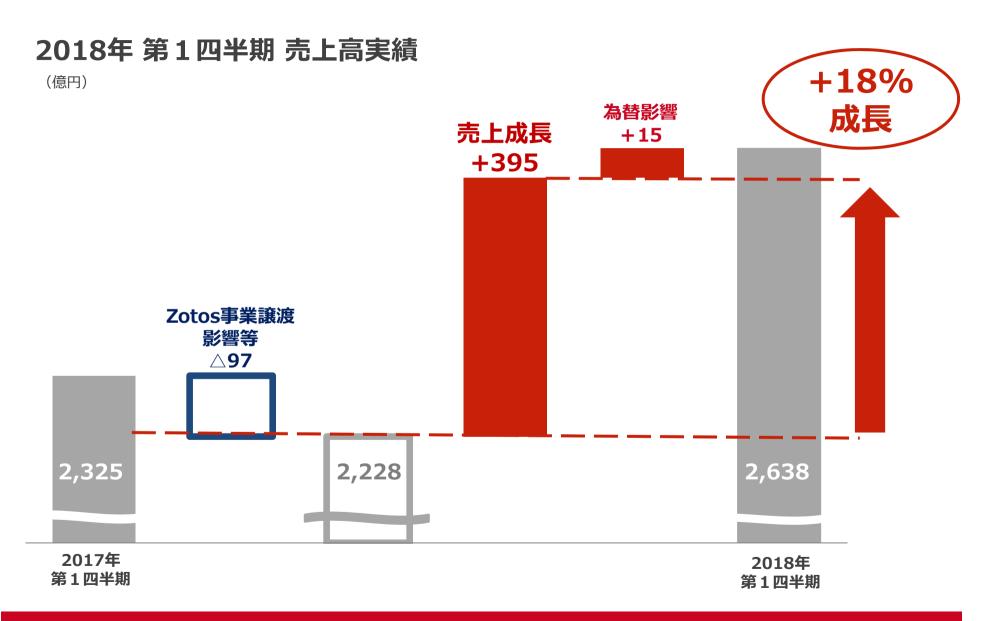
2018年 第1四半期 実績要約

				201	8年	201	7年	前年差	前年比	外貨 前年比
	(億	門、	%)		構成比		構成比			133 1 20
売	_	L	高	2,638	100	2,325	100	+313	+13.5	+12.8
売	上	原	価	549	20.8	545	23.4	+5	+0.9	
販	盲		費	1,617	61.3	1,539	66.2	+78	+5.1	
営	業	利	益	471	17.9	241	10.4	+230	+95.3	
経	常	利	益	472	17.9	239	10.3	+233	+97.7	
特	別	損	益	2	0.1	△4	△0.2	+6	_	
帰	属	株主す紙系	る	289	10.9	140	6.0	+149	+106.2	

為替レート ドル=108.3円 (△4.7%)、ユーロ=133.2円 (+10.0%)、中国元=17.1円 (+2.9%)

^{※1} 前年差のプラス、マイナスの符号は、それぞれ金額の増減を表示。

成長モメンタムのさらなる加速 実質+18%成長へ



日本、中国、アジア、トラベルリテールで高成長を継続

2018年 第1四半期実績 売上高 報告セグメント別

		201	8年	201	7年	前年差	前年比	外貨	実質外貨
(億円、	%)		構成比		構成比	的十⁄土	טיד דיינו	前年比	前年比※2
日	本	1,187	45.0	1,014	43.6	+173	+17.0	+17.0	+18
中	玉	456	17.3	355	15.3	+102	+28.7	+27.2	+27
ア ジパシフィッ	アノク	171	6.5	147	6.3	+24	+16.1	+13.2	+13
米	州	282	10.7	296	12.7	△14	△4.8	\triangle 1.1	+4
欧	州	251	9.5	224	9.7	+26	+11.7	+3.1	+7
トラベルリテ・	ール	214	8.1	151	6.5	+63	+41.9	+44.3	+50
プロフェッショ	ナル	48	1.8	108	4.6	△59	△55.0	△55.4	+4
そ の	他	29	1.1	31	1.3	$\triangle 1$	△4.0	△4.0	+7
合	計	2,638	100	2,325	100	+313	+13.5	+12.8	+18

^{※1} セグメント変更については、補足資料3を参照。なお、前年実績は変更後の区分方法により作成したものを記載。

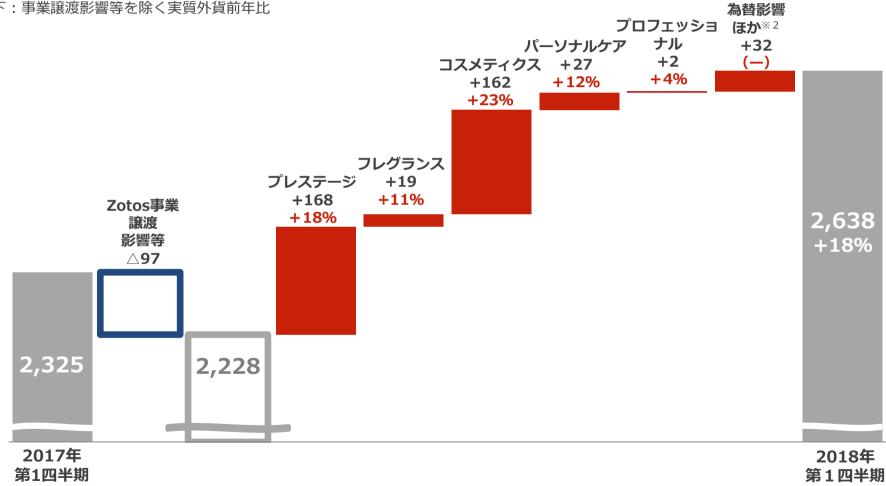
^{※2} 実質外貨前年比は、前年の事業譲渡影響等を除く外貨ベースの前年比。

すべての事業で増収 プレステージ、コスメティクス事業が成長をけん引

事業別 売上高増減実績

上:前年差 億円

下: 事業譲渡影響等を除く実質外貨前年比



- ※1 各事業の前年差および外貨前年比は、期初想定の為替レートベースにて算出。
- ※2 「為替影響ほか」には、為替影響+15億円のほか、「その他」事業や想定レートと実勢レートの差が含まれる。

グローバルで収益性向上

2018年 第1四半期実績 営業利益 報告セグメント別

		2018	8年	2017	7年	前年差	前年比
	(億円、%)		営業利益率		営業利益率	的十年	<u>11,1</u> 1.ΓΩ
日	本	318	24.8	200	18.3	+118	+59.0
中	国	148	32.4	66	18.6	+82	+124.8
アジア	アパシフィック	32	18.4	33	21.6	△0	△1.0
米	外	△46	△13.0	△41	△12.4	△5	_
欧	小	△13	△4.5	△34	△14.2	+21	_
トラ/	ベルリテール	54	25.4	48	31.7	+7	+13.7
プロフ	フェッショナル	1	2.0	4	4.1	△3	△78.2
そ	の他	△9	△3.5	△22	△10.9	+13	_
小	計	486	15.7	254	9.6	+232	+91.6
調	整額	△14	_	△12	_	△2	_
合	計	471	17.9	241	10.4	+230	+95.3

^{※1} 営業利益率は、セグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率。

^{※2} セグメント変更については、補足資料3を参照。なお、前年実績は変更後の区分方法により作成したものを記載。

日本 実質+18%成長 利益率初の20%台へ

		2018	3年	2017	7年	前年差	前年比
	(億円、%)	Q1	構成比	Q1	構成比	刊十左	月リギーレし
	プレステージ/ 専 門 店 ※ 1	433	36.5	377	37.1	+57	+15.1
	コスメティクス	554	46.7	457	45.1	+97	+21.1
	パーソナルケア	144	12.1	126	12.4	+18	+14.3
	その他 ※ 2	56	4.7	54	5.4	+1	+2.2
큣	上 高	1,187	100	1,014	100	+173	+17.0

※前年の事業譲渡影響等を除く実質前年比 +18%

		(億円、	%)	2018年	2017年	前年差	前年比
営	業	利	益	318	200	+118	+59.0
	利	益	率	24.8	18.3	+6.5ポ	イント
のれ	ん等値	賞却前	利益	319	201	+118	+58.9
	利	益	率	24.9	18.4	+6.5ポ	パイント

- ※1 日本地域のマネジメント体制に合わせ、従来、日本事業における「プレステージ」「専門店」を2018年より「プレステージ/専門店」として合算計上。
- ※2 「その他」は、ヘルスケア事業、アメニティグッズ社などを含む。
- ※3 構成比は、日本事業内の比率を表示。
- ※4 利益率は、セグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率。

店頭売上 +19%成長 大きくシェア拡大

● 日本市場: 化粧品市場成長 + 2~3%程度(当社推計)

(%)

● 当社:店頭売上対前年比 +19%

▶ 日本人売上成長:前年比+10%超

→ インバウンド売上:前年比+40%超

▶ 「選択と集中」により強いブランドを確立 スターアイテム/ベーシックケアによるブランド確立 新ライン/新シリーズ導入による若年層への拡大

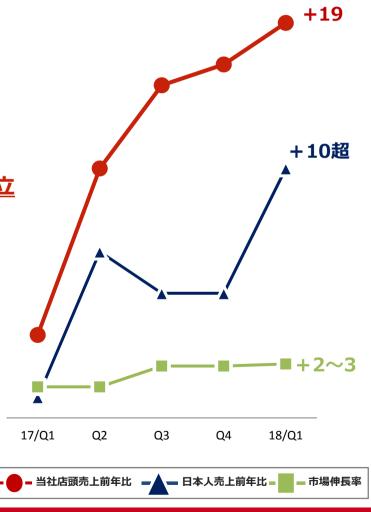
- ・「エリクシール」+70%超
- •「SHISEIDO」+40%超

差別化した品質の高さでブランド確立

- 「マキアージュ」ベースメーク トップシェアを継続
- 「アネッサ」+80%超

新市場の創造

• 「Optune」β版 テスト販売



中国 +27.2%成長 大幅増益

			2018年	2017年	前年差	前年比	外貨
	(億円、%)		Q1	Q1	別十左	月リギーレし	前年比
売	上	高	456	355	+102	+28.7	+27.2

		(億円、	%)	2018年	2017年	前年差	前年比
営	業	利	益	148	66	+82	+124.8
	利	益	率	32.4	18.6	+13.8才	ペイント
のれ	ん等値	賞却前:	利益	149	67	+82	+122.9
	利	益	率	32.6	18.8	+13.8才	ペイント

- プレステージ 成長をけん引
 - ▶ 「クレ・ド・ポー ボーテ」「SHISEIDO」「イプサ」「NARS」好調
- コスメティクス 好調
 - ▶ 「オプレ」堅調、「アネッサ」「エリクシール」飛躍的な成長
- Eコマース売上好調継続
- ※1 セグメント変更については、補足資料3を参照。なお、前年実績は変更後の区分方法により作成したものを記載。
- ※2 利益率は、セグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率。

アジアパシフィック +13.2%成長 2桁の利益率を継続

		(億円	円、%)	2018年 Q1	2017年 Q1	前年差	前年比	外貨 前年比
売		上	高	171	147	+24	+16.1	+13.2
		(億円	円、%)	2018年	2017年	前年差	前年比	
営	業	利	益	32	33	△0	△1.0	
	利	益	率	18.4	21.6	△3.2ポ	イント	
の 7	れん等	償却前	利益	32	33	△0	△1.0	
	利	益	率	18.5	21.7	△3.2ポ	ペイント	

- プレステージ 引き続き好調
 - ➤ 「SHISEIDO」「クレ・ド・ポー ボーテ」「NARS」
- コスメティクス・パーソナルケア
 - 「ANESSA」「SENKA」が高成長
- 韓国、タイ 飛躍的に成長
- 台湾 市場を上回る成長
- ※1 セグメント変更については、補足資料3を参照。なお、前年実績は変更後の区分方法により作成したものを記載。
- ※2 利益率は、セグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率。

米州 実質+4%成長 計画通り進捗

	(億円、%)		2018年 Q1	2017年 Q1	前年差	前年比	外貨 前年比
売	上	高	282	296	△14	△4.8	△1.1

※前年の事業譲渡影響等を除く実質外貨前年比 +4%

		(億円	、%)	2018年	2017年	前年差	前年比
営	業	利	益	△46	△41	△5	_
	利	益	率	△13.0	△12.4	△0.6∄	パイント
のれ	ん等	償却前	利益	△33	△18	△15	_
	利	益	率	△9.3	△5.6	△3.7オ	パイント

^{※1} セグメント変更については、補足資料3を参照。なお、前年実績は変更後の区分方法により作成したものを記載。

^{※2} 利益率は、セグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率。

米州

- 「NARS」好調
 - スペシャリティーストアでのプレゼンス向上
- 「Dolce&Gabbana」好調
 - > 「Light Blue」 堅調
 - ➤ 新製品「Dolce Garden」が好調にスタート
- 「bareMinerals」計画通り進捗
 - > ブランドトータルは前年を下回る
 - > 不採算直営店を閉鎖中
 - > Eコマース売上好調・デジタル強化
- ブランドへの投資強化
 - ▶ 米州市場でのマーケティング投資
 - ➤ COE[※]/ブランドホルダーとしての開発投資







欧州 実質+7%成長 収益性改善

		(億円、%)	2018年 Q1	2017年 Q1	前年差	前年比	外貨 前年比
売	上	高	251	224	+26	+11.7	+3.1

※前年の事業譲渡影響等を除く実質外貨前年比 +7%

		(億円	、%)	2018年	2017年	前年差	前年比
営	業	利	益	△13	△34	+21	_
	利	益	率	△4.5	△14.2	+9.77	パイント
の 7	れん等	償却前:	利益	△8	△30	+22	_
	利	益	率	△2.9	△12.5	+9.67	パイント

「Dolce&Gabbana」

- ➤ 新製品「Dolce Garden」が好調にスタート
- > フランス・UK・中東を中心に成長性加速
- 「NARS」力強い成長
- 「SHISEIDO」スキンケアが好調
 - > \[\text{WASO} \] \[\text{Essential Energy} \]
- ※1 セグメント変更については補足資料3を参照。なお、前年実績は変更後の区分方法により作成したものを記載。
- ※2 利益率は、セグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率。

トラベルリテール 飛躍的な売上成長 高収益率を継続

	(億円、%)	2018年 Q1	2017年 Q1	前年差	前年比	外貨 前年比
売	上 高	214	151	+63	+41.9	+44.3

※前年の事業譲渡影響等を除く実質外貨前年比 +50%

		(億円	、%)	2018年	2017年	前年差	前年比
営	業	利	益	54	48	+7	+13.7
	利	益	率	25.4	31.7	△6.3∄	ペイント
のれ	しん等値	賞却前	利益	54	48	+7	+13.7
	利	益	率	25.4	31.7	△6.3∄	ペイント

● 化粧品

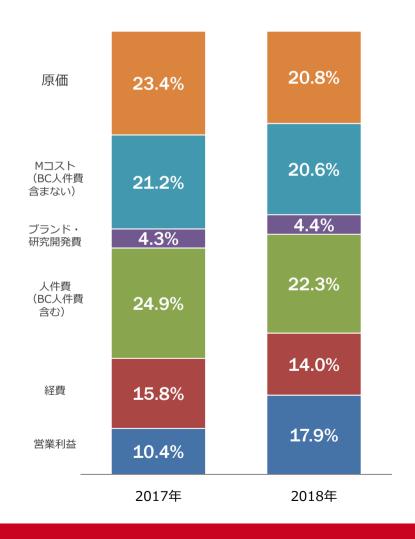
「クレ・ド・ポー ボーテ」「SHISEIDO」「NARS」「アネッサ」 高い伸長を継続

● フレグランス

- ▶ 「Dolce&Gabbana」好調に推移
- ※1 セグメント変更については、補足資料3を参照。なお、前年実績は変更後の区分方法により作成したものを記載。
- ※2 利益率は、セグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率。

理想的なコストストラクチャーへ

2018年 第1四半期 コスト構造実績



- トップラインの拡大
- 原価率
 - > コアブランドが飛躍的に規模拡大
 - > プレステージブランド成長
- マーケティング投資
 - ▶ 投資効果の蓄積により マーケティングROI向上
- 人件費/経費
 - ▶ 一定規模を維持することで 売上比率低下

既存ビジネスで稼ぐ力が着実に向上 営業利益率向上

さらなる挑戦、高みをめざす

- ブランドポートフォリオのさらなる強化 ブランドカの向上と売上規模拡大・収益性向上
 - 「SHISEIDO」「クレ・ド・ポー ボーテ」「エリクシール」「NARS」
 「Dolce&Gabbana」「アネッサ」「イプサ」
- グローバル経営体制のさらなる進化

主要機能×地域	販売会社	地域本社	ブランド ホルダー	センター・オブ・ エクセレンス	工場
日 本	0	0	0		
中国	0	0	0		0
ア ジ アパシフィック	0	0			0
米州	0	0	0	0	0
欧州	0	0	0	0	0
ト ラ ベ ルリ テ ー ル	0	0			

組織内のエネルギーをさらに高め、戦う集団へ

グローバル競合レベルの収益性へ

JHIJEIDO

補足1 売上増に伴い固定費率の減少 理想のコスト構造へ

2018年 第1四半期 販売管理費実績

					2018年				
(億円、%)			%)		売上比	率差	前年比	増減	為替影響を 除く増減
販	売	管 理	費	1,617	61.3	△4.9	+5.1	+78	+68
	M =	コス	٢	825	31.3	△1.7	+7.6	+59	+51
		ンド開発		117	4.4	+0.1	+16.2	+16	+14
	人	件	費	305	11.6	△1.5	△0.1	△0	$\triangle 1$
	経		費	370	14.0	△1.8	+1.0	+4	+4

[※] 率差および増減のプラス、マイナスの符号は、それぞれの売上比および金額の増減を表示。

[※] MコストはBC人件費を含む。

補足2 貸借対照表

			(億	円)	2018/ 3末	増減 (対2017/12末)
流		動	資	産	4,932	△330
	現 有	預 価	金 証	・券	1,347	△398
	売	上	債	権	1,764	+143
	た	な お	即資	産	1,305	+5
固		定	資	産	4,133	△98
	有	形固	定資	産	1,567	△19
	無	形固	定資	産	1,646	△40
	投	資	その	他	920	△39
資		産		計	9,065	△429

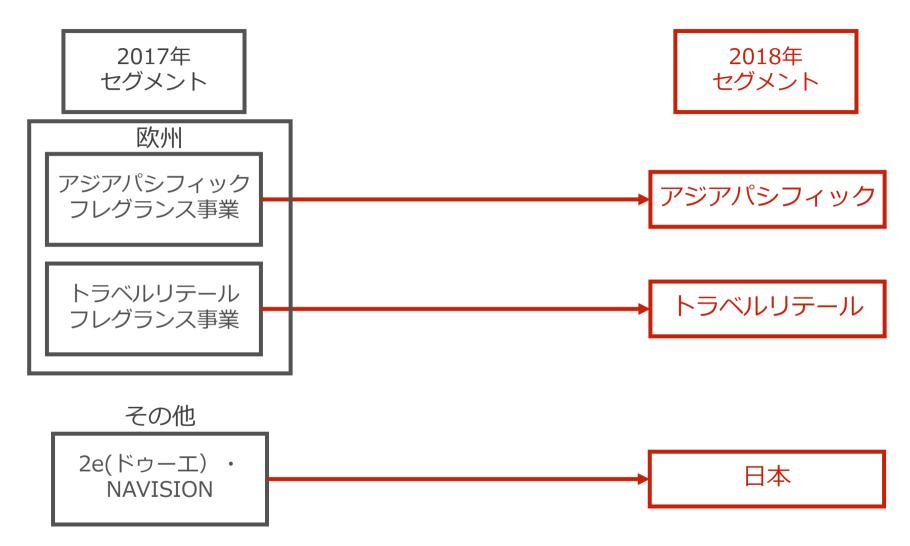
				(億	円)	2018/ 3末	増減 (対2017/12末)
負					債	4,497	△539
	仕 未	入	債 払	務	· 金	1,277	△192
	未	払	法。	人 税	等	112	△138
	賞	与	引	当	金	167	△83
	有	利	子	負	債	812	△2
	長	期	未	払	金	569	△24
純			資		産	4,569	+110
	株	Ξ	È	資	本	4,293	+231
	そ 累	の f	也 包計	括利	益額	37	△137
	非	支	记株	主持	分	230	+15
負	債	•	純	資 産	計	9,065	△429

使用為替レート

2018/3末:ドル=106.3円、ユーロ=130.6円、中国元=16.9円 2017/12末:ドル=113.1円、ユーロ=135.0円、中国元=17.3円 D/Eレシオ 0.19

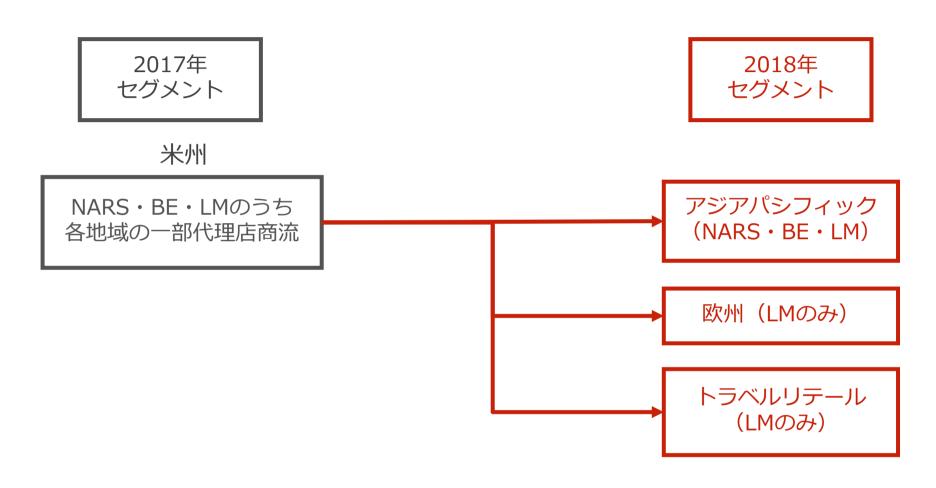
※主要な勘定科目のみ

補足3-1 新旧報告セグメントの主な変更について



当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直した。従来「欧州事業」に計上していたアジアパシフィックのフレグランス事業は「アジアパシフィック事業」へ計上し、「欧州事業」に計上していたトラベルリテールのフレグランス事業は「トラベルリテール事業」へ計上、「その他」に計上していた「2e(ドゥーエ)」と「NAVISION」は「日本事業」へ計上。

補足3-2 新旧報告セグメントの主な変更について



業績管理区分の一部見直しに伴い、「米州事業」に計上していた「NARS」「bareMinerals」「Laura Mercier」のうち各地域で展開している一部の 代理店商流の事業については、「アジアパシフィック事業」「欧州事業」「トラベルリテール事業」へ計上する。

BE: 「bareMinerals」
LM: 「Laura Mercier」